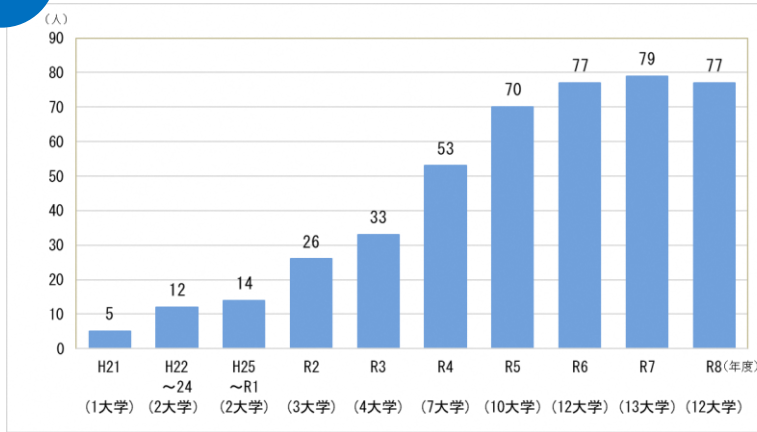


# 医師確保の状況

- 県では、医学部地域枠の設置や臨床研修・専門研修の充実など、総合的な医師確保対策を進めています。

## 県内

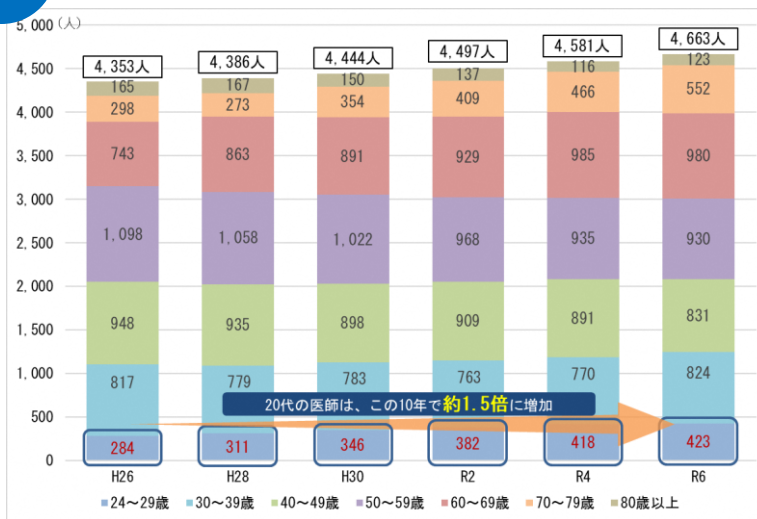
新潟県医学部地域枠の推移（H21年度～R8年度）



- ✓ R2年度から特に注力しており、R8年度は12大学に77枠を確保し、地域医療を担う医師の養成に努めている。
- ✓ R2年度に入学した地域枠の医学生は、R8年度から病院に配置され始めている。
- ✓ 特に、令和5年度からは、日本大学に糸魚川市と連携した地域枠（1枠）を設置し、将来、糸魚川総合病院などで勤務する医師の確保に取り組んでいる。

## 県内

県内の年齢階層別医療施設従事医師数の推移（H28～R6）

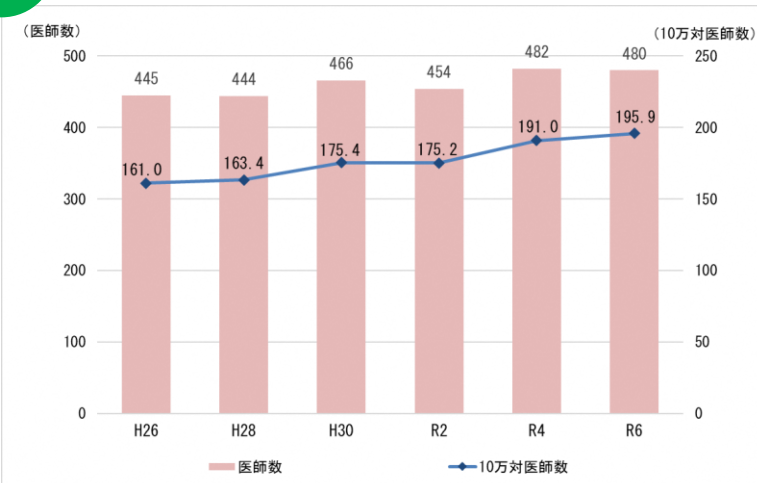


- ✓ 県内の医療施設従事医師数は年々増加しており、10年で約7%にあたる310人が増えている。
- ✓ 臨床研修医確保の取組等もあり、20歳代の医師数は10年で約1.5倍に増加している。

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」  
※各年12月31日時点の医師数

## 上越

上越医療圏における医療施設従事医師数の推移（H26～R6）



- ✓ 上越医療圏における医療施設従事医師数は、10年で約8%にあたる35人が増えている。
- ✓ そのほか、若手医師の確保に向け、R8年度から、将来の医療再編を見据えた「地域で育てる家庭医療専門研修プログラムじょうえつ」を開始し、地域ぐるみで医師の育成を進めている。

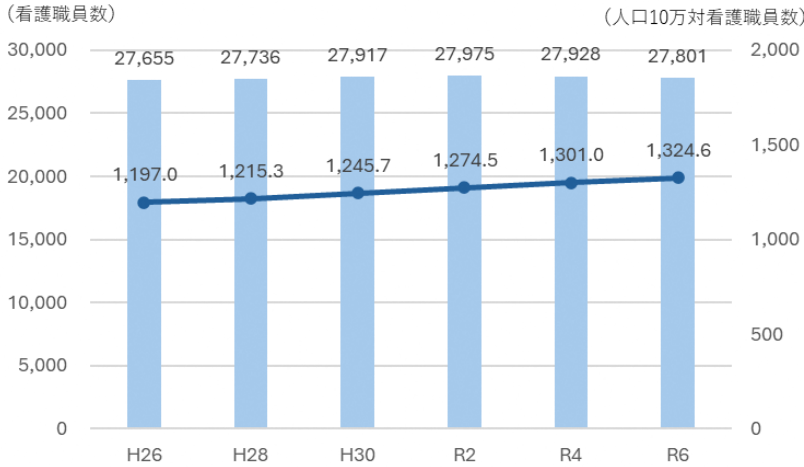
資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」  
※各年12月31日時点の医師数

# 看護職員確保の状況

- 県では、看護職員の養成、県内就業の促進と再就業支援の強化により、看護職員確保対策に取り組んでいます。

## 県内

県内の看護職員数の推移 (H28～R6)

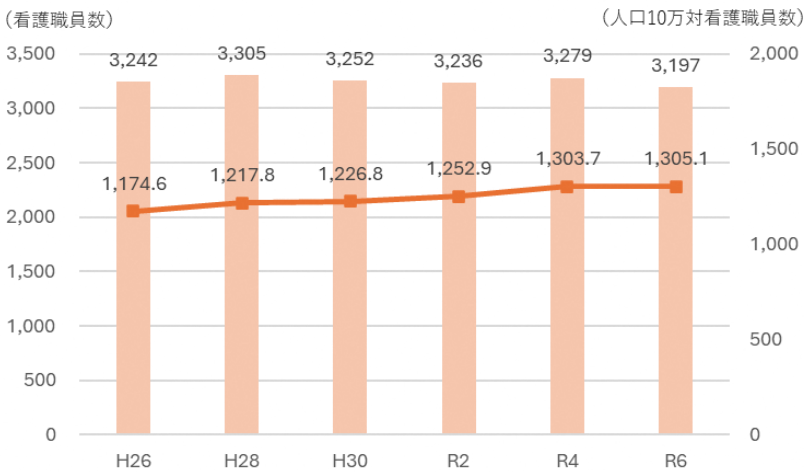


- ✓ 県内の看護職員数は、10年で146人増えているものの、近年では減少している。  
H26 27,655人  
R6 27,801人
- ✓ 一方、近年の人口減少により、人口10万人当たり看護職員数は増加という結果になっている。

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」  
※各年12月31日時点の医師数

## 上越

上越医療圏における看護職員数の推移 (H28～R6)



- ✓ 上越医療圏の看護職員数は、10年で48人減少している。  
H26 3,242人  
R6 3,197人
- ✓ 人口10万人当たり看護職員数はH26年から増加してきたものの、近年では横ばいとなっており、頭打ち感がある。

資料：新潟県「新潟県看護関係者の現状」  
※各年12月31日時点の医師数

- このような状況の中、上越医療圏では、県立中央病院が中心となり、県立看護大学と連携して、圏域内の病院を対象とした看護管理者研修を開催するなど、看護職員の育成と定着に向け、地域全体で取組を進めています。